



健康長寿のための

フレイル予防事業について

質問

フレイルとは虚弱という意味で、健康と要介護の間に位置しています。また、栄養・運動・社会参加の三本の柱のうち身体が衰える最初の段階となるのは、社会参加への減少だとされています。今後、本市をはじめ日本全体で人口に占める高齢者の割合が増加して行くこと予想される状況においては、医療費や介護保険料の増大も予想されることから、フレイル予防事業に取り組むことで健康寿命を延伸する必要がありますと考えますが、所見を伺います。

答弁

現在の高齢社会での健康寿命の延伸に於いて、フレイル予防は大変重要です。社会とのつながりがなくなれば、栄養や運動への気力も失われ、心身の衰えがドミノ倒しのようにつながってまいります。今後は介護予防教室や高齢者の居場所づくり、生活支援体制整備事業等を通じ、フレイル予防をしていきたいと考えます。

質問

フレイル予防の取り組みの実施に当たっては、フレイルを自分の事としてとらえる必要があります。そのためにも市民サポーターの存在が大きいですと考えますが、所見を伺います。フレイルについては一般的な認知度が低いためサポーターの養成などよりも先に、現在実施している健康事業や介護予防教室などを通じて、フレイルという概念について啓発していきたいと思えます。

答弁



九月議会一般質問

(場所は本会議場)

質問の2問目は

「小規模事業者の事業承継について」

太田市の高齢者、要支援者、要介護者、100歳以上の人口の2040年の推計？

※高齢者とは65歳以上です。2018年3月と2040年の推計。

(100歳以上は2050年の推計)

高齢者の数	56,320人	→→→	61,942人	約10%増	
要支援者の数	2,041人	→→→	2,976人	約46%増	
要介護者の数	6,804人	→→→	10,363人	約52%増	
高齢者の一人暮らし数	4,552人	(2017年)	→→→	5,218人	約15%増
100歳以上の人数	107人	→→→	289人	2.7倍	

日本の100歳以上人口は2018年9月15日現在約70,000人(内88%が女性)国連の推計によると2050年には100万人を超えると予想されています

■今後、医療費や介護保険料の増大という大きな課題を考えますと、健康寿命を延伸させるためのフレイル予防事業に早く取り組むべきだと考えます。また、一生は100歳時代と言われています。その100年を健康のまま生きて行くには「健康長寿社会」を目指すフレイル予防の取り組みが必要であります。

質問

本市における健康寿命延伸の施策として、フレイル予防事業を行政センター等で率先して行うことについて、市長の所見を伺います。

答弁

画一的なフレイル予防事業を行うのではなく、行政センターで行っている講座等に参加するなど、各自が自分の興味があるものを通じて積極的に社会参加することこそが、フレイル予防になると思えます。

※右の答弁は、現状で可。興味なし。フレイル予防事業に全く答えてない。

## ◎太田駅周辺土地区画整理内・本町通りの渋滞解消を解決するには？

まずは栄町付近の道路を都市計画決定通り実施する事です。①区画整理を進捗させるか？②又は区画整理事業を解除して県土木事務所による道路整備を実施するか？決算委員会の答弁は区画整理区域内の一部を解除することも視野に入れて検討したいとの事でした。



## 本町通り・電線地中化工事は平成 32年から本格工事が始まります

### 都市計画道路 本町・新井線の今後について



都市計画道路・本町・新井線は平成三十一年度をめどに道路工事着工予定です。その後、道路舗装など開始し、道路運用開始になります。その時期については明言を避けました。三十三年頃になりそうです。その理由としては河川や変電所周辺の整備が遅れているためです。

### 本町・新井線の今後

## ◎決算特別委員会の話題①と②

### ①カラス対策について

「カラス語」を使ってカラスを誘導する実験が山形市役所で行われ、スピーカーを使って、誘導したい場所にカラスを誘導することが出来ました、世界で初めて実験に成功しました。次は誘導した先で定着させることが重要な課題です。実験を繰り返して早く実用化されることを願っています。

### ②乳がん検診について。マンモグラフィー

は、万能ではありません。乳腺もシコリも同じように白くみえます。小さいシコリは見つけにくいのです。乳腺が多い30~40代の方にはむしろ「超音波=エコー検査」が重要で、小さなものでもはっきりと「黒い影」で写ります。乳がんの発見状況は70%が自分で触って見つける自己検診によるものです。また、検診年齢は40歳以上になっていますが、議会からも意見が出され、以前の30歳以上に戻す必要があると考えます。

皆様の「声を」お聞かせください。市民相談も受け付けています。  
ホームページやフェイスブックなどで色々な情報を発信しております。

〒373-0057 太田市本町 47-15 TEL 090-3146-8216 FAX 0276-60-4047

E-mail [youti@bb.mbn.or.jp](mailto:youti@bb.mbn.or.jp) HP <http://www.okawatoichi.net>